

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会  
時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
環境技術委員長 坂 本 忠 彦  
専務理事兼事務局長 清 原 淳 平

環境技術委員会のお知らせ (第326回)

日時 平成28年6月23日(木) 午後1時半～4時

場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第3会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第3会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、「環境問題について、昨今、思うこと」

挨拶 坂本忠彦環境技術委員長

2、**持続可能な社会形成への物質循環と環境浄化について**

解説 藤田豊久東京大学大学院教授

3、『環境技術関連ニュース NO.151』

解説 中島稔科学技術部会長

報告 去る5月24日開催の第325回環境技術委員会は、坂本忠彦委員長が議長を務め行われました。まず、坂本委員長より、「環境問題について、昨今、思うこと」と題して開会挨拶がありました。去る5月15日～20日、南アフリカで開催された国際大ダム会議の年次例会に日本代表として参加した。例会ではその年度の議題を選定することになっているが、地球温暖化にダムが果たす役割というテーマは選定されなかった。南アはじめアフリカ諸国の興味は、早く、安く、安全にダムを建設する手法というハード面に関するものがほとんどだ。1国1票の議決権であるから、先進国の関心事は数で勝る途上国にはかな

わないということになる。COPにおける長年の先進国と途上国の対立もそうだが、先進国と途上国の間の利害対立は、着地点を設定するのが難しい。

次に、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース NO.150』の解説がありました。今回は、○内閣府の総合科学技術・イノベーション会議にて、温室効果ガス排出量減を目標とした「エネルギー・環境イノベーション戦略」が取りまとめられる。高温高压工程のない素材技術、水素、排ガスからCO<sub>2</sub>分離回収などの技術で世界をリードすることを目指す。一方、経済に影響の出ない現実的な対策が求められる。○世界のCO<sub>2</sub>排出量、2年連続横ばい。自然エネルギーの急増が要因。一方日本の自然エネルギー普及スピードは遅れている。○福島第一原発のトリチウム処分、コストは海へ放出するのが最安だが、漁協は猛反対。○汚染地下水をホップ成分で浄化する技術。○下水汚泥の低コスト再利用技術。○汚染土壌をほぼ100%再利用する技術。○汚染土壌を水を使わず浄化する技術。○廃棄太陽光パネルが25年後には80万tになるとの予測。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

次に、中島部会長御提供の、地球温暖化とPM2.5に関するビデオを一同にて視聴しました。その概要は、温室効果ガス削減を目的とした京都議定書は、アメリカ、中国の二大排出国が批准せず、実効性に乏しかった。しかし、地球全体で異常気象が発生し、両国も新たな議定書締結に前向きになったことで、COP21において新たなパリ議定書が採択されることとなった。異常気象と温暖化の関連性は不明の部分も多いが、海水温の上昇がその一つとされている。気温が上がれば、地表や海面から蒸発する空気量が増え、あるところでは旱魃、別のところでは積乱雲や台風が増加し、大雨による土砂災害も増加する。このパリ協定では2100年までに気温上昇を2℃以内、という目標を立てたが、果たして達成できるであろうか。PM2.5は、物質の大きさのことをいい、成分は様々である。日本では、不要の外出や運動を控えるべき濃度70以上の日が年に数日ある。対策は正しいマスクの装着が第一である。中国では、濃度1千を超えることも珍しくなく、より大気汚染が深刻な状況である。

**★当日会費千円にご協力お願い申し上げます。**

次回、6月23日（木）の環境技術委員会に

出・欠（いずれかに○印）

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。  
新規参加希望者は、予め履歴書をご提出ください。

事務局宛 FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール [shigeta@jidaisassin.jp](mailto:shigeta@jidaisassin.jp)